

平成 25 年度第 2 回病院・薬局関東地区調整機構委員会（総会）議事録

日時：平成 26 年 2 月 17 日（月）14:00～17:00

場所：慶應義塾大学薬学部 1 号館マルチメディア講堂

出席者：関東甲信越 1 都 9 県薬剤師会委員 8 名（代理 2 名、オブザーバー 1 名）及び病院薬剤師会委員 9 名（代理 1 名）、日本保険薬局協会 1 名（他オブザーバー 1 名）、東京都薬剤師会委員 1 名、薬学教育協議会 2 名、23 大学委員 41 名（代理 5 名、オブザーバー 2 名）、厚生労働省 1 名

司会進行：花輪副委員長

1. 報告事項

1) 薬学教育協議会報告（望月）

資料 1-1～-6 に基づき報告があった。

(1) 第 23 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会（資料 1-1）

資料 1-1 に基づき、委員会の報告があった。

(2) 平成 25 年度第Ⅱ期実務実習に関わる報告書（資料 1-2）

特にメンタル面で問題のある学生への対応について報告があった。

(3) 文部科学省委託事業に関わるアンケート調査の発送及び回答状況（資料 1-3）

現在、アンケート内容について集計中である。

(4) ワークショップ報告書未提出一覧について（資料 1-4）

未提出のワークショップ開催者への提出要請があった。

(5) 認定実務実習指導薬剤師・実習施設の一元的把握について（提案）（資料 1-5）

認定実務実習指導薬剤師の勤務先の変更等により、一元管理ができなくなるため、実習施設と指導薬剤師の一元管理・指導薬剤師の勤務把握が必要である。

2) 平成 25 年度第Ⅰ期実務実習実施状況（資料 2-1）（伊東）

平成 25 年度第Ⅱ期実務実習実施状況（資料 2-2）（伊東）

中央調整機構に提出した資料 2-1～2-2 について報告があった。

3) 平成 26 年度病院薬局実務実習割り振り結果（資料 3）（伊東）

東京都・神奈川県・千葉県は学生の希望に対応できる受入施設が少ないため、他県に比べ割り振りに苦労していると報告があった。

4) 平成 26 年度ふるさと実習割り振り状況（資料 4）（伊東）

関東地区から地区外への実習希望者数及び関東地区外から関東地区への実習希望者数の報告があった。

5) 小委員会報告

①大学小委員会（資料 5-1）（櫻井）

資料 5-1 に基づいて、実務実習ガイドライン（案）作成について及び災害時の各大学の対応について報告があった。実習報告書について、今後は実習終了後 1 か月以内に提出いただきたいとの要望があった。

②病院小委員会（資料 5-2）（橋本）

資料 5-2 に基づいて、大学小委員会で作成したガイドライン（案）について受け入れ施設の立場より報告があった。

③薬局小委員会（資料 5-3）（鶴飼）

資料 5-3 に基づき、実習実施状況について報告があった。

④指導薬剤師小委員会（資料 5-4）（小佐野）

資料 5-4 に基づき、平成 26 年度ワークショップ日程及び平成 25 年度アドバンスワークショップについての報告があった。

⑤トラブル防止小委員会（資料 5-5）（三原）

資料 5-5 に基づき、トラブル防止小委員会活動方針（案）、今年度Ⅰ期、Ⅱ期のトラブルについて、トラブル防止に向けた提案（原案）及び報告書様式（案）について報告があった。

6) ホームページ作成 WG 報告（資料 6）（永田）

関東地区調整機構のホームページのリニューアルについて、新たに大学の事前実務実習の内容を掲載したとの報告があった。

7) 平成 25 年度関東地区調整機構予算執行状況（資料 7）（永田）

資料 7 に基づき、予算の収支報告、来年度の繰越しについての報告があった。

8) その他

伊東委員長より、災害時における各大学の対応について関東地区調整機構のホームページに掲載予定であるとの報告があった。

2. 審議事項

1) 平成 25 年度第 1 回病院・薬局実務実習関東地区調整機構委員会議事録案（花輪）

資料 8 に基づき、平成 26 年 6 月 11 日に行われた総会議事録が承認された。

2) 関東地区調整機構組織図案（伊東）

資料 9 について報告があり、承認された。関東地区調整機構のホームページに掲載することとなった。

3) 関東地区調整機構実務実習ガイドライン案（伊東）

大学小委員会でガイドライン（案）を作成し、病院・薬局小委員会で検討された。

資料 10 に基づき、関東地区調整機構実務実習ガイドラインが承認された。平成 26 年 2 月 17 日より実施されることとなった。

4) 平成 26 年度事業計画案（伊東）

・資料 11 に基づき、事業計画が報告され承認された。

・指導薬剤師養成に関する事業において、ワークショップ参加後年数がたった指導薬剤師に対

しては別立てでアドバンスワークショップを行いたい旨の説明があった。

- ・実務実習に関するトラブルについては事例集（年1回）を作成し、大学・病院・薬局小委員会で意見交換を行いたい。

5) 新割り振りシステムの導入について（伊東）

資料 12 に基づき、概略説明があり、導入することとなった。全体の運用に関しては今後更に検討することとなった。

6) 平成 26 年度予算案（永田）

資料 13 に基づき、関東地区調整機構病院・薬局実務実習平成 26 年度予算報告がされ承認された。

7) 平成 27 年度病院・薬局実習割り振り日程案（伊東）

資料 14 に基づき、病院・薬局実習施設決定までのスケジュールの報告があり、承認された。

8) 平成 27 年度病院・薬局実習実施日程案（伊東）

資料 15 に基づき、報告があり承認された。

9) その他

(1) 関東地区調整機構会費徴収方法（伊東）

4+2+2 の就学年数の学生の会費についても 26 年度からは 4 月に定員数に基づいて一括徴収することが承認された。

(2) その他（伊東）

施設への 27 年度実務実習受入調査の際、新たに車椅子使用学生および視覚障害のある学生の受入可否、認定実務実習指導薬剤師と登録番号の項目を追加することが承認された。

閉会にあたり海老原卓志氏（厚労省）より、現在、薬学教育は変換点にあり今後も厚生労働省としてもバックアップしていくとの講評があった。